

次期防災情報システム実施設計の結果報告について

このことについて、実施設計の結果、以下のとおりとなりましたので報告します。

1 更新の効果

- (1) 防災行政無線の更新・デジタル化による安定した運用
- (2) 屋外拡声子局の音声到達能力の向上
- (3) 防災行政無線や防災防犯メール等への一括配信による、さらなる迅速かつ正確な防災情報の提供

2 整備費用

・実施設計の積算額 約 25 億円（市負担額 7.3 億円※1）

・令和 5 年度の試算額約 24 億円（市負担額 7.2 億円※1）

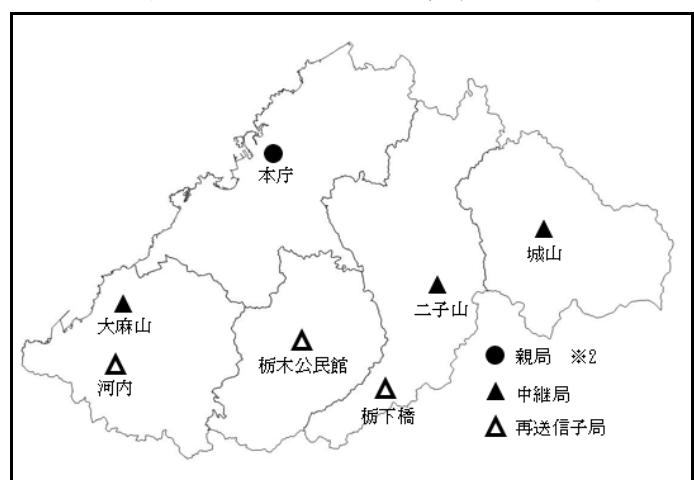
人件費及び機材価格の高騰により約 4 億円の増が見込まれたが、中継局及び再送信子局の最適化により積算額を削減して、約 1 億円の増にとどめた。

なお、来年度の入札に向けて、内容を更に精査して金額を確定する予定である。

表 1 中継局・再送信子局の設置場所

施設名	地域	現行	次期
▲中継局※3 (2 局減)	浜田	城平山	0
	金城	二子山	二子山
	旭	城山	城山
	弥栄	円通寺山	0
	三隅	高城山	大麻山
	計	5 局	3 局
△再送信子局※4 (2 局減)	浜田	5	0
	金城	0	栃下橋
	旭	0	0
	弥栄	0	栃木公民館
	三隅	0	河内
	計	5 局	3 局

図 1 中継局・再送信子局の位置図（次期）



3 屋外拡声子局の配置の最適化

- (1) 津波災害警戒区域等への効果的な伝達および、避難場所の適切な運用のため必要に応じて屋外拡声子局の新設を行う。
- (2) 地形の起伏が激しく高性能スピーカーを使用してもなお、十分に放送が聞こえない地区については、他の最適な方法を検討する。

※1 全額が緊急防災・減災事業債の対象となった場合の試算

※2 親局とは、本庁舎に設置する、防災行政無線電波の発信源となる無線局のこと。

※3 中継局とは、親局の無線電波を中継し、屋外拡声子局や戸別受信機に届ける無線局のこと。

※4 再送信子局とは、中継局を補い効果的に電波を中継する無線局のこと。

【次頁に続く】

4 行政放送の再編（案）

周波数が5波から1波になるため行政放送を再編する。

- (1) ミュージックサイレン（時報）の曲及び時間の統一
- (2) 行政放送時間の再編

表3 ミュージックサイレン及び行政放送の時間割

時間	現行					次期 共通
	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	
5:00	浜千鳥 夏					
6:00	浜千鳥 冬		野ばら	鐘		放送(金城)
6:10						放送(旭)
6:15		行政放送	行政放送	行政放送		
6:20					行政放送	放送(弥栄)
6:30						放送(三隅)
7:00		カチューシャ				浜千鳥
8:00					鐘	
11:00	市民歌					
12:00	市民歌	カチューシャ	市民歌	市民歌	市民歌	市民歌
12:20		行政放送				放送(金城)
12:30			行政放送			放送(旭)
16:30		市民歌 冬				
17:00	遠き山 冬		夕やけ	鐘 冬	鐘	カチューシャ冬
17:30		市民歌 夏				
18:00	遠き山 夏			鐘 夏	夕やけ(夏松)	カチューシャ夏
19:20						放送(金城)
19:25		行政放送				
19:30			行政放送		行政放送	放送(旭)
19:40						放送(三隅)
20:00				行政放送		放送(弥栄)

5 スケジュール（案）

施工は老朽化が進んでいる金城・三隅地域を先行して進め、早期に完了させる。

表4 スケジュール（案）

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
月	8~9	10~3	4~9	10~3
方針 設計 施工	基本方針策定 実施設計委託（12月補正）		入札 契約（6月議会議決後） 三隅施工・撤去 旭 施工・撤去 金城施工・撤去 弥栄施工・撤去 調達、親局 ^{※1} ・中継局 ^{※2} 等施工 浜田施工・撤去	
議会	■ 9月議会（検討状況報告） ■ 12月議会（実施設計委託）		■ 6月議会（施工契約の議決） 債務負担行為補正) ■ 12月議会（実施設計の結果報告） ■ 3月議会（当初予算）	
住民 周知	地域協議会等（事業概要説明）		屋外拡声子局新設・撤去協議 戸別受信機設置希望調査、設置工事	